



医療・介護の安全保障を推進する民間会議

## 国際シンポジウム 認知症と共に生きる—北から南から

いまや認知症は全ての人々が関心を持つべき社会的な課題となっています。国際的に関心も高まり、各国とも新たな価値観の共有と協働を模索しております。今回のシンポジウムが認知症に対する偏見をなくし、「共に生きる」原動力の一步となることを願っています。皆様のご参加を心よりお待ちしております。



日時

2017年7月1日(土)  
13:00-17:30 (受付開始 12:30)

主催

医療・介護の安全保障を推進する民間会議

会場

東京医科歯科大学 M&D タワー 2 階  
「鈴木章夫記念講堂」  
〒113-8510 東京都文京区湯島 1-5-45

参加費

¥2,000 (会員 1,000 円、学生 500 円)  
当日受付にてお支払いください。

参加申込

下記ウェブサイトよりお申込ください。  
<https://goo.gl/QpeyDA>  
会員の方は事務局へ直接ご連絡下さい。





## 国際シンポジウム

# 認知症と共に生きる—北から南から

### シンポジウムの流れ

総合司会 森まどか

- 13:00 開会の挨拶 水巻中正
- 13:10 基調講演  
「国際貢献と人材育成を目指して」 安藤高朗 (医療法人社団永生会理事長)
- 13:35 特別講演  
◎「アジア健康構想と国際交流貢献」 武見敬三 (参議院議員、自民党総務会長代理)  
①「オランダの農福連携と認知症」 濱田健司 (JA 共済総合研究所主任研究員)  
②「中国進出と国際貢献」 清水崇文 (トリムメディカルホールディングス代表取締役社長)  
③「認知症 医療の限界、ケアの可能性」 上野秀樹 (精神科医師)

### (休憩・コーヒータイム)

- 15:30 国際シンポジウム 「認知症と共に生きる—それぞれの分野から」 司会 遠藤慶子 小川陽子
- ①「中国の糖尿病と認知症」 飯塚陽子 (東京大学医学部附属病院内科医師)  
②「イギリス、スコットランドの認知症対策」 浅川澄一 (ジャーナリスト・元日経新聞編集委員)  
③「恍惚の人から希望の人びと」 生井久美子 (朝日新聞記者)  
④「スウェーデンの認知症ケア」 グスタフ ストランデル (元スウェーデン福祉研究所所長)
- <特別発言>  
上野秀樹 濱田健司 松本謙一 竹林洋一

- 17:15 閉会の挨拶 湖山泰成 (湖山医療福祉グループ代表)
- 17:30 懇親会 (会場:東京ガーデンパレス 参加費用 4,000 円。定員 30 人。懇親会会場受付にてお支払いください)

### 会員募集・寄付のお願い

民間会議の趣旨にご賛同の方は、ぜひ、ご入会ご寄付をお願い申し上げます。

会費： 団体 年 30,000 円 個人 年 5,000 円 (学生は 1,000 円、大学院生は 2,000 円)

会員特典： 団体会員は 10 人まで国際シンポジウムの参加費が免除となります  
個人会員のかたは、国際シンポジウムの参加費 2,000 円が 1,000 円となります。

申込方法： 事務局まで下記をご連絡下さい。(メールもしくは FAX)  
折返し確認回答をいたしますので口座へ振込をお願いします。

申込事項： 「会員希望」「個人」「団体」を表記 「氏名」「団体名・肩書」「e-mail」  
「住所」「電話、FAX 番号 (FAX 申込の場合、必ず FAX 番号を記載願います)

振込口座： 銀行・支店： 三菱東京 UFJ 銀行 阿佐ヶ谷支店 (店番:156)  
口座番号： (普通) 0156015  
口座名： 医療・介護の安全保障を推進する民間会議  
フリガナ： イリョウ・カイゴノアンゼンホシヨウ

ご寄付： 事務局までご連絡下さい。(メールもしくは FAX)

民間会議事務局 水巻中正

(新設)〒103-0003 東京都中央区日本橋横山町 2-4 特定非営利活動法人国際高齢者サービス研究センター

E-mail: mizumaki@iuhw.ac.jp FAX: 03-5803-4969 http://dectokyo.r-cms.jp/